



工場長の^{まえだ}前田さんの話

ごみは主に、もえるごみ、もえないごみ、そだいごみ、しげんの四種類に分けられます。

もえるごみとは、生^{せい}ごみや紙ごみ、ボールペンやおもちゃなどのプラスチック製品の事です。ごみしゅうしゅう車にかいしゅうされたもえるごみは、しゅうきやく工場に運ばれ、もやされます。もえのこったはいは、うめ立てしよぶん場に運ばれたり、スラグに加工してアスファルトほそうなどにりようされたりします。

もえないごみとは、ガラスやわれたお皿、なべなどの小型^{がた}の金属^{ぞく}製品、アイロンなどの小型の電気製品などのことです。

そだいごみとは、大きな家具やふとん、電気製品などの三十センチをこえる大型ごみのことです。これらはそだいごみうけつけセンターに申しこみ、ゆうりようシールをはって指定された場所に出します。エアコン、テレビ、れいぞう庫、せんたくき、パソコンなどの電気製品は、そだいごみには出せません。これらは、つくった会社がりサイクルします。

もえないごみやそだいごみは、はさい工場に運ばれ、ハンマーで細かくくだかれたあと、せんべつされます。のこったものはしゅうきやく工場に運ばれます。

しげんとは、びん、かん、ペットボトル、紙類、いるい、小型家電、食用油などのことです。これらは、リサイクル工場に運ばれ、げんりようやしぎい、部品、製品などになります。

では、スプレーかんやリチウム電池は、どのように出すか知っていますか。これらは、他のごみといっしょに出すと、工場やごみしゅうしゅう車の火災^{さい}の原因^{いん}となりますので、完全に使いきってから指定のふくろに入れて、もえるごみのしゅうしゅう日に出します。

